

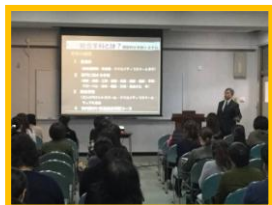
住吉第一中
校長室だより
いっちゅう

進路説明会 進路懇談

謝会:
11月2日
懇談:
12月
~16金

将来の進路に向かって

卒業後の進路選択は、高校選びが目的ではなく、将来どのような人生を送るのか、そのためにはどうすればよいのか、そのためには今、何をしなければならぬのかを考えることです。皆さんは、どのようなおとなになっていくのでしょうか？どんな職業についているのでしょうか？たくさんの職業の中から、選ぶ作業をこれからしていかなければなりません。そのために、何をしなければならぬのか。何をするに適しているのか。その目標に向かって、3年生は一歩踏み出します。高校や専門学校に進学する者、就職をする者など、これからの進む道が違ってきます。3年生は、11月2日の金曜放課後に保護者の方を対象とした進路説明会を行いました。私立高校の特色や公立高校の特色などを、清明高校、今宮高校、府教育センター付属高校から担当の先生方をお招きをし、説明していただきました。また、進路主事からは、公立高校の本年度の変更点等を中心に説明をさせていただきました。



11月号

H30
11.30



発行者
中西利彦

また、12月(月)~16日(金)の週間、進路についての三者懇談も行いました。保護者の皆さま、ご協力ありがとうございました。今後、土日曜日や冬休みなどを利用して、進学希望の学校には実際に行って、自分の目と足で確認しておいてください。願書を出す時に初めて学校に行ったというようなことのないように、注意しておいてください。自分を見つめ、自分の将来の夢を鑑み、自分の適性や学力を理解し、家族の方とよく話し合いをして、後悔のない進路選択をしてください。

1年生 職業講話

11月22日(水)

11月22日5限、1年生は職業講話を聞きました。ハローワークから担当の先生に来ていただき、用意されたプリントに基づいて、話が進められていました。「働くということ」とはどういうことなのか?「仕事をする」ということは?そして、「夢を実現するために、今必要なこと」は何だろう?等将来、夢を持ち生きがいのある仕事をを見つけるためのお話しをしていただきました。その中で、学校生活で学ぶ基本を大切にということ、人として守らな

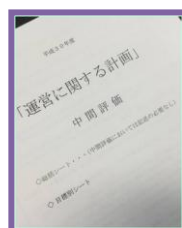


ればならないルールを守ること。それは、日ごろから聞いていた「あいさつをしよう」「忘れ物をしない」といった内容で、これは学校だけでなく、社会一般に大切なことであると再確認してくれたと思います。

学校協議会

10月30日(火)

10月30日(火)に、学校協議会が開かれました。①全国学力・学習状況調査の結果、分析について
②学校診断アンケートについて
③運営に関する中間反省について
④2学期から始まった親子給食にあたっての給食アンケートの結果と分析についての4点について、校長から説明をいたしました。①②③については、10月号の記事で内容を説明いたしました。また、給食についてのアンケート結果は、10月30日の本校ホームページ「第2回 学校協議会10・30」をご参照ください。協議会の中で、その他の話として、北館校舎建て替えに伴う仮設校舎とその工事について、子どもたちの安全と教育環境をできる限り守ってやってほしいというお話が出ていました。協議会の委員の皆さま、ありがとうございました。



「日本人読み書き『能力不足』82%」

読書週間（10月27日～11月9日）を前に、毎日新聞は25日、7～9月に実施した「第72回読書世論調査」の結果をまとめた。日本人の読み書きする能力について、不足していると感じることが「ある」と答えた人が、82%に達し、感じることは「ない」の16%を大きく上回った。

不足を感じるものが「ある」と答えた人に原因を聞くと、「読み書きする時に、スマートフォンや携帯電話、パソコンを使っているから」が47%と最も多く、「文章をあまり書かないから」20%、「本を読まないから」19%が続いた。ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス（SNS）の普及で、読み書きの内容が短文に偏りがちになっていることが影響しているようだ。

言語学者の金田一秀穂・杏林大教授は「今は『短く』『簡潔』という単純化された文章こそ良しとする風潮がある。しかし、それでは物事を深く考えることはできない。結果をみると多くの人がそのことに気がついているのではないかと指摘する。調査は、全国の16歳以上の男女3,600人を対象に郵送方式で実施。2,350人から有効回答を得た。（右グラフ参照）



1,2年生が球技大会を行いました。2年生が1日の5・6限を使って、また、1年生は8日の5・6限を使って球技大会を行いました。両日ともに、晴天で、穏やかな気温でした。男女別、クラス対抗戦で、思いっきり応援をして、その声が校舎中に鳴り響いていました。一人では、楽しむことができない行事が学校にはあります。これからも互いに力を合わせて、よりよいクラスを作っていくてください。

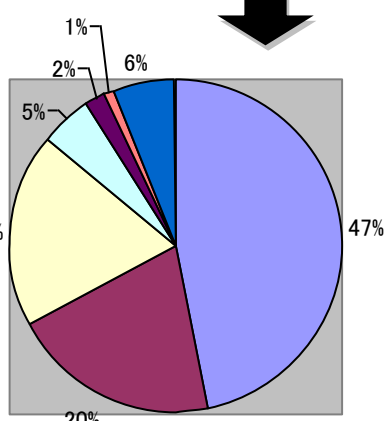
球技大会くきくベースボール

無回答2%

日本人の読み書き能力の不足を感じることもあるか

ある82%

ない16%



- ☒ 読み書きする時に、スマートフォンや携帯電話、パソコンを使っているから
- ☒ 文章をあまり書かないから
- ☐ 本を読まないから
- ☐ テレビやラジオの視聴が多いから
- ☒ 読み書きする時間がないから
- ☐ その他
- ☒ 無回答

編集後記

大阪に万博が開催されるというニュースが飛び込んできました。2025年だそうです。2020年に東京オリンピックが開催され、5年後に万博が開催されます。オリンピックも万博も2回目です。1回目の頃（五輪は1964年、万博は1970年）とは、国の内外で大きな違いがあります。しかし、それぞれのイベントを経て、この国が大きく変貌したことは確かです。これからのイベントもそのことを期待して開催されます。生徒の皆さんは、2回目の大阪万博の頃は20歳を過ぎた責任ある大人になっていることでしょう。さて、どうかかわっているのでしょうか。どう影響を受けるのでしょうか。AIやPCやSNSやコンピューターが活躍すると思われますが、それらを作り、コントロールするのは、最終的には人間だと思います。どんな世の中になっても、人とのつながりがおろそかにならないように自分磨きに努めてください。



食文化の違いと知り、互いの文化を理解することで国際理解につながることを学びました。

食文化から国際理解を考える
食育の一環として、栄養教諭の永井先生が総合の時間を活用して、各学年で特別授業をしてくださいました。食文化を通じた国際理解教育がテーマです。たとえば、米を例に挙げ、私たちの日頃食べているご飯（ジャポニカ米）と外国でよく食べられているインディカ米の違いがある。粘りあるジャポニカ米だから、日本におむすびが生まれたり、箸文化が生まれました。

